

読む人の幸せを心に願って作る

喜びのタネまき新聞

No.
628

〈行動や考えは変えられる〉

ダスキン創業者・鈴木清一が他界して今年8月で40年を迎えました。

例年は、命日にダスキンの加盟店や本部役員らが墓参会と称してお参りをするのですが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため中止に。本来なら、鈴木清一とのエピソードや加盟店の現況をお聞きする機会でもあったので残念に思いました。

墓参会は中止になりましたが、私は例年通り、ダスキンの状況を報告するために墓参りに行きました。

墓前で手を合わせ、心の中で創業者にダスキンの現況と二年間の報告をしている時に、ふと「環境を変えることは難しいが、自分の行動や考えは変えることが出来る」ということが頭をよぎりました。

ダスキンの創業はマイナスからのスタートでしたが、鈴木清一はそのような環境の中でも「喜びのタネをまこう」の想いで事業を推進しました。

今は新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うばかりですが、「この環境の中で何が出来るか」「どのように変えていけばよいか」を考える機会を与えられたのではないかと思います。

「不自由な環境に愚痴を述べても何も解決しないなら、自ら創意工夫して行動する方が前向きな人生を送れますよ」と、創業者の声が聞こえた気がしました。



山口県

秋吉台のススキ

※イラストはイメージです

株式会社ダスキン社長

山村輝治



香山公園の大内弘世公之像。「フシノ(榎野)のお殿様」と今も地元で慕われている



富田さんが教える「山口ふるさと伝承総合センター」の教室



目を入れた瞬間に、人形に命が吹きこまれる



伝統工芸士の富田潤二さんは、職人歴44年の熟練



心を和ませる
夫婦円満の象徴

大内人形



大内弘世夫妻の仲むつまじい逸話から生まれた大内人形。
国の伝統的工芸品である大内塗の艶と、金の蒔絵が美しい

絢爛な大内文化を
今に伝える大内塗

「西の京」と呼ばれる山口県
山口市。その由来は室町時代に
西国一の大大名と名を馳せた
大内弘世が、京の都に倣って町
を築いたことから始まったと伝
えられています。そして京都から
職人などを呼び寄せ、豪華絢爛
な大内文化を開花させました。
大内文化の一つとして今も継
承されているのが、漆工芸の大
内塗です。「大内朱」と呼ばれる
深い朱色の地に、菊や萩など

して、子供たちを引率して来て
くれたことも嬉しかったですね」
と、にこやかに話してくれました。

お殿様の愛妻家ぶりを
表現した漆工芸人形

箸やお椀などとともに、大内
塗の代表的な作品が「大内人形」
です。コロンとした愛らしい姿に、
切れ長の目とおちよぼ口がほほ
笑んでいるような表情。大内人
形は全国的にも珍しい本漆塗
りの人形で、女性は十二単、男性
は烏帽子に笄という京風の雅な
装いで、仲むつまじい弘世夫婦
の姿を表しています。京から迎
えた花嫁が遠い都を思つて寂し
がったため、弘世が屋敷中に人
形を飾つて喜ばせた、という逸話
から生まれたもので、夫婦円満
の縁起物として大切に受け継が
れているのです。

制作は、他の大内塗と同じく
幾つもの作業を経て作られます。
乾燥した木材を削ることから始
まり、素地を補修・補強して下地
漆を塗り、下塗り・中塗り・上塗
りの3段階に分けて漆を塗った
後、模様をあしらいます。美しい
艶を出すためには、下塗り・中塗
りの際に湿度と温度に注意しな
がら半日以上かけて乾燥させ、
木炭や研磨紙での水研ぎを納得
がいくまで繰り返すそう。

「地味で汚れる作業ですが、
漆を重ねるたびに、人形に艶や
かさが増します。そして最後の
仕上げでスツと目を描いた瞬間
に、物“から”この子“になるん

ですよ」と富田さん。

大内人形は結婚祝いとして贈
られるだけでなく、ひな人形や
五月人形としても地元の家庭で
飾られています。また、着物の柄
や髪色が現代風のものなど新た
な形も生まれており、大内人形
づくりが学べる山口ふるさと伝
承総合センターの大内塗教室か
らは新たに工芸士や修復士も輩
出されているのだとか。「伝統を
守りつつ、変わりゆく生活様式に
合わせた人形も作っていきたい
と思います。そして、いつまでも
愛される人形であってほしいで
すね」と富田さんは語ります。
山口駅前には巨大な人形が
飾られ、球形ガスタンクにも描
かれるなど、山口市のシンボル
として市内のあちこちで見かけ
られる大内人形。見る者の心を
和ませてくれる優しいお顔で、
これからも人々を見守ってくれ
ることでしょう。



大内人形のふるさと
山口県山口市

区画や地名などに京風の名残が見られ、山口
七夕ちょうちんまつりや山口祇園祭、山口天神
祭などでにぎわう。毎年11月22日(いい夫婦の
日)ごろに大内人形まつりも開催されている。
※今年は新型コロナウイルス感染防止のため中止



台所の相談室

木枯らしが吹き始めると、温かい献立が恋しくなります。和洋中とさまざまに応用できるスープ作りのコツを伺いました。

FILE 12

根菜ときのこたつぷりの秋らしい汁物はいかが？



お悩み

最近、スープ作りにはまっています。毎日いろいろなレシピを試すのが楽しくて、料理の面白さにも目覚めました。今はダイエットをしているので、野菜をいっぱい使った、食べ応えのあるヘルシーなスープの作り方が知りたいです。（佐賀県・女性）

ひだかずを
飛田 和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『いちばんおいしい野菜の食べ方』（オレンジページ）を始め、著書多数。

スープの献立は私も大好き。野菜がたつぷりとれる具たくさんのスープはごはんまたはパンと合わせるだけで立派な一食になるところがいいですね。具材の組み合わせは限りなく、具の切り方以外に、和風、洋風、鶏の出汁で中華やエスニックにもできます。これに調味料をどう組み合わせるかを考えれば、レシピは無限大です。



今の季節なら、旬の根菜やきのこをたつぷり使った汁物がおススメ。歯応えが良い、ねつとりとやわらかい、しつとりみずみずしいなど、食材の持ち味を生かして、そこにうま味たつぷりの牛肉を合わせます。スープを作る時は、冷蔵庫のお掃除も兼ねて半端な野菜を鍋に放り込み、具たくさんにします。一種類の野菜だけの時



はポタージュに。玉ねぎやネギなどの香味野菜を少しと、とりみとなるジャガイモやごはん、パンなどもほんの少し加えて煮て、牛乳や豆乳、出汁でのばせば出来上がりです。

市販の出汁やスープの素を使う場合は、素材を煮出してから、味をみながら市販の素を加えます。その方が素材のうま味がよく出るようです。

Answer Recipe

芋汁



材料(4人分)

A	牛切り落とし肉	150g
	ごぼう、大根、しめじ	各100g
	れんこん、人参	各80g
	里芋	4個
	こんにゃく	80g
	厚揚げ	1/2枚
	油	小さじ2
	昆布出汁	4カップ
	塩	小さじ1/2
	薄口醤油	小さじ1

作り方

- 1 Aは全て食べやすい大きさに切る。ごぼうとれんこんは切った後、水に5分さらす。こんにゃくは下茹でしてから切る。（里芋はひとてま参照）
- 2 鍋に油と①を入れ、中火で軽く炒め合わせる。昆布出汁と半量の塩を加えて煮る。
- 3 野菜が全てやわらかく煮えたら、薄口醤油と残りの塩で味を調える。



飛田さんってほんとにま

里芋は皮ごとよく洗って泥を落とし、皮を乾かしてからむくと滑らず、汚れずむきやすい。むいたら乾いたふきんで表面をゴシゴシすると、ある程度ぬめりが取れます。皮をむいた里芋は冷凍すると便利。解凍しないまま煮汁に入れて煮込んでOKです。冷凍することで繊維が崩れて、やわらかく煮えます。

台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとしたお悩みを、飛田さんに相談してみませんか？ お便りをお待ちしています。宛先は裏表紙をご覧ください。





白いごはん

茨城県土浦市 林 伸子さん



かつて身近な人を招いて孫娘の七五三のお祝いの会を開いた時の話です。司会者が主役の孫娘にマイクを向けて「好きな食べ物は何ですか？」と問いかけたところ、孫娘は「白いごはん！」と即座に答えました。予想外の答えに私はびっくり。

思えば小さい頃から、我が家に来るなり「ばあちゃん、ごはんを炊いているでしょ。お米の匂いがする」とにこにしながら、ごはんが炊き上がるのを楽しみにしていました。

そんな孫娘も社会人に。今も我が家で収穫した新米の白ごはんを食べ、元気に通動しています。

愛情いっぱい白いごはんが
お孫さんの元気の源なのですね！

気が利くお兄さん

愛知県北名古屋市長 窪園 弘美さん



以前、息子と一緒に人気のレストランに行った時のこと。席に着いてテーブル下の籠にバッグを入れてみると、隣の席のお兄さんが、「よければ僕の籠も使ってください」と声を掛けてくださいました。私の籠だけでは、バッグを入れたら上着が入らないと察してくださったのでしょう。若いものになって気が利くお兄さん！

お兄さんたちが帰られた後、息子に「こういう気配りができるのが格好いいんだよ」と伝えておきました。息子はしっかりと心にメモをしてくれたかしら？

すがすがしい気分になる
スマートな大人の気配り！

一枚のマスク

神奈川県茅ヶ崎市 中村 富美子さん



ある日、買い物に行ったところ、マスクを忘れてしまいました。申し訳なく思いながら、大きめのハンカチを口にあてて買い物をしていると、近くにいた女性が「大変でしょう。ぜひお使いください」と、マスクを一枚くださったのです。最初は「遠慮したのですが、困っている時はお互いさま」と言ってくださったので、ありがたういただきました。

見ず知らずのご婦人の親切にとても温かい気持ちになると同時に、私もそんな振る舞いができるようになりたいと思いました。

困っている時にいただいたマスクは
心まで救ってくれたですね。

漢字分解の面白さ

島根県松江市 神門 邦次さん



新聞を読んでいた時、ふと頭の体操のために漢字分解をしたくなり、さっそく試してみました。

たとえば、「明」は「日」と「月」、「語」は「言」と「舌」のように、「二つの漢字に分解できます。また、「信」は「イ」と「言」、「沖」は「シ」と「中」のように、カタカナと漢字に分けられ、「加」は「カ」と「口」、「外」は「タ」と「ト」のように、「二つのカタカナに分けられる漢字もあるのです。やり始めるとなかなか面白く、気付けば夢中になることもしばしば。

脳を鍛えるためにも、実践を続けたいと思います。

見れば見るほど、漢字って不思議。
奥深い世界ですね！

孫の一言

大阪府東大阪市 東野 清子さん



孫が小学校2年生の時、学校で「この世で一番欲しいもの」という作文の題が出され、孫は「おばあさんに長生きしてほしいから、二百歳まで生きられる薬が欲しい」と書いてくれたそうです。この話を聞いて、私はうれしさと胸がいっぱいになり、感激の涙が止まりませんでした。

思いやりのある子に育ってくれてありがとう。この作文のことは一生忘れません。孫には大変な時代をも乗り越えていく、たくましい人になってほしいです。

優しさにあふれた作文は
宝物のような思い出ですね。

古希祝い

愛媛県松山市 久保 明子さん



私たち夫婦は同い年。昨年、夫の誕生日に合わせて、子どもたちが私たちの古希祝いをしてくれました。老舗ホテルで名湯に浸かり、季節の会席料理を食べて、うれし楽しい至福の時を過ごしました。

最後は息子と娘夫婦、1歳から19歳までの孫たちに囲まれて、総勢16人で記念撮影。家族全員に祝ってもらい、夫への不平不満やこれまでの子育ての苦労が飛んで行きました。

なんて素敵なご家族！

弊紙は来年創刊50周年を迎えます。
そこで「喜びのタネまき新聞と私」を
テーマにお便りを募集しています。
あなたの思い出をお聞かせください！

働く幸せ

燈々無尽

人間は、一羽のスズメも生む事は出来ないが、感謝をして、働く事が出来る。やる気になってやる事、実行こそが大切だ！

あまりにも世の中が、けわしすぎると思いませんか？

さりとて、「いやでございます」といって逃げて暮せる訳ではありません。

不幸と不満となやみと苦しみの現場に、とりこになっているとしたら、ゼロから出発して、働く事だ！

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業
第39期研修生 校本友里さん（精神障がい）

アメリカでの研修で得た
貴重な経験や気づきを
レポートします！



私は、ボストンにあるハーバード大学での研修に参加しました。かねてより海外での自分の障がいにも関わるメンタルヘルスについて学びたいと思っていたため、「これぞ求めていたチャンスだ！」と愛の輪の研修に応募しました。

応募の過程で自分がやりたいことについて考え、抜き、「精神障がいに悩む人を一人でも減らすことができれば」という思いを強く持つようになりました。実際にアメリカに滞在できた期間は短かったものの、とても濃い時間を過ごすことができましたので、このコラムを通じてご紹介していきたいと思います。

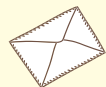


（次回に続く）

愛の輪は、日本とアジア太平洋の地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎ 06-6821-5270 🌐 <https://www.ainowa.jp/>





あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様から送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



喜びいっぱい七五三!



福島県
福島市
小林 律子さん

小さい秋見つけた♪



兵庫県尼崎市
小林 まり子さん

仲良くお昼寝 Zzz



山口県熊毛郡
広中 悦子さん

コスモスきれいだね!!



長崎県長崎市
川本 絹代さん

ハレの日のポーズ♥



岐阜県
関市
佐藤 安香さん

帽子がお似合い



東京都
大田区
中野 和子さん



読者の皆様から送りいただいた素敵な1枚をご紹介します。

引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!

 引越しのお手続きは、担当店・Webページ

ダスキンコンタクトセンター 0120-100100 まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

59-9C 2020.11 3484200